

ブランチャー明日香の議会活動

【2025年度 一般質問のテーマ】

- ▶ジェンダー視点と気候変動対策
- ▶若者参画と気候変動対策
- ▶公民連携プラットフォームの活用について
- ▶循環型社会の実現に向けた清掃事業について
- ▶23区清掃事業のしくみと今後の方向性
- ▶有機ごみの再資源化
- ▶多文化共生社会実現に向けて
- ▶みどりの基本計画の進め方

2026年5月に改定されるみどりの基本計画に注目しました。



令和7年第4回定例会一般質問

【所属委員会】

- ▶都市環境委員会（委員長）
- ▶道路交通対策特別委員会
- ▶ICT活用推進検討委員会
- ▶杉並区諸課題検討委員会
- ▶環境清掃審議会

【行政視察】

- ▶3/23 横浜市 サークュラーエコノミーplus EXPO
- ▶7/31 山梨県 多文化共生夏季ワークショップ
- ▶10/21 東京都武蔵野市 清掃工場・エコリゾート
- ▶10/21 東京都葛飾区 区立施設のZEB化（都市環境委員会合同視察）
- ▶12/18 東京外かく環状道路本線トンネル(南行)大泉南工事現場
- ▶1/15 静岡県浜松市 多文化共生施策

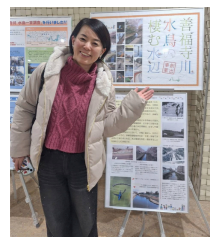


「みんなのまちはみんなでつくる」対話の杉並区政を現場でウォッチ！

杉並区自治基本条例に基づき、住民が主体となる区政を目指す岸本聡子区長の「区民参加型の区政」が4年目を迎えた2025年度。各地域でたくさんの対話の会議体やワークショップ、学習会などが継続しています。ブランチャー明日香は主に環境をテーマにした参加型の会議体を傍聴してまいりました。区民の皆さんの声を聴き、活かしていく区政が進んでいます。

【ブランチャーが傍聴した区政の取組一例】

- ・気候変動ユース若者会議
- ・善福寺川水鳥の棲む水辺シンポジウム
- ・グリーンインフラ杉並区民会議
- ・雨庭ワークショップ
- ・すぎなみエコ路地フェスタ
- ・みどりの基本計画ワークショップ
- ・生物多様性に関するワークショップ
- ・デザイン会議
- ・事前復興まちづくりミーティング 他



善福寺川水鳥の棲む水辺シンポジウム



柏の宮公園で雨庭のメンテナンス作業

明日Cafe「区政おしゃべり会」

杉並区政についておしゃべりしましょう。お気軽にご参加ください。（予約不要）

4/18 (土) 16:00-18:00

4/22 (水) 18:00-20:00

4/26 (日) 16:00-18:00

会場：ブランチャー明日香事務所
杉並区上荻1-24-12第1浅賀ビル2A



杉並区議会議員

ブランチャー明日香

長崎県出身。カナダオンタリオ州立ヨーク大学 社会人類学部卒業。
2023年より杉並区議会議員（緑の党グリーンズジャパン所属）
事務所：杉並区上荻1-24-12第1浅賀ビル2A
☎ 090-8487-5406（事務局）

公式サイト▼



ゼロカーボンのまち、杉並へ

ブランチャー明日香

杉並区議会議員 会派 シスターフード杉並

カワセミ通信

VOL.10 (2026.3.29 発行)

令和8年度(2026.4-2027.3)、岸本区政の当初予算 杉並区議会で賛成多数可決！

2,535.3億円

前年度比+3.2%（一般会計）

杉並区は、先行き不透明な社会経済状況の中、区民のいのちと暮らしを守るために、財政の健全性の確保に努めた予算を編成し、予算特別委員会での審議を経て賛成多数で可決されました。「対話の区政」を進める岸本聡子区長と行政とともに、住民の皆さんと共に創る区政が一步一步進んでいます。

当初予算の主な政策

議会費	総務費	生活経済費	保健福祉費	都市整備費	環境清掃費	教育費	公債費	その他
¥6,057	¥1,306	¥737	¥735	¥585	¥441	¥86	¥41	¥12

予算を1万円と換算すると？

保健福祉費	教育費
¥6,057	¥1,306
都市整備費	総務費
¥735	¥737
生活経済費	環境清掃費
¥585	¥441
公債費	議会費
¥86	¥41
その他	
¥12	

■健康・共生社会

- ▶平和への想いを世代を超えてつなぐための取組
- ▶多文化共生基本方針の具体的な取組
- ▶介護保険の円滑な運営に向けた取組
- ▶障害者の社会参加等を支える体制の充実
- ▶誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり

■子ども・学び

- ▶区立児童相談所の開設
- ▶杉並区子どもの居場所づくり基本方針に基づく取組
- ▶学校運営を支える環境づくり
- ▶多様なニーズに応じたきめ細かな教育の推進

■防災・みどり・地域

- ▶震災救援所の質を向上させるための取組
- ▶みどりが暮らしの中に息づくまちの実現に向けた取組
- ▶地域産業への支援
- ▶町会・自治会への支援

■行政サービスの質向上

- ▶DXの推進による区民サービスの向上
- ▶職員が生き生きと働ける風通しのよい環境づくり

岸本聡子区長：「対話とは決めないことではなく、よりよく決めていくためのプロセス」

「経営学の視点に立てば、区民との信頼関係は事業執行を支える「社会関係資本（ソーシャル・キャピタル）」という重要な無形資産です。」→行政への信頼や納得感、参画意識などは、政策の成否を測るための重要な客観的データとして定義されています。

▶次ページにて、「令和7年度、ブランチャー明日香 議会活動ダイジェスト」ご紹介

多文化共生施策について 「誰もが安心できる地域づくりを」

区内に住む外国籍住民は25,208人（2026年3月現在）。杉並区の多文化共生基本方針は、「人権の尊重」を基盤に、外国籍の住民を単なる支援対象ではなく「共に地域を作る仲間」と再定義した画期的な方針です。情報格差を解消する言語サービス、学校における子どもたちへの学習生活支援、SNSなどでの誤情報に対する対策、今後区が進める多文化拠点事業、キーパーソンの育成について確認しました。



1/15 静岡県浜松市の多文化共生の取組を視察

都市環境委員長を務めました

2025年度は、都市環境委員長職を拝命しました。10/22には、武蔵野市のエコReゾートとクリーンセンター、葛飾区のゼロエミッションかつしかの事業を行政視察。行政条件が類似している都市の近隣自治体を調査することで杉並区の施策へと活化し、今後も情報交換ができる関係性を築いていきたいと考えています。

10/22 葛飾区的全庁横断的ZEB（ゼロエミッションビルディング）チームにご挨拶



令和7年度(2025.4-2026.3) ブランシャール明日香 議会活動ダイジェスト！

任期3年目を終えました。ひとり会派緑の党グリーンズジャパンから、5人会派「シスターフード杉並」を結成。会派の副幹事長、都市環境委員会の委員長を務めました。環境政策に加え、多文化共生政策、ジェンダー政策など新しい分野を調査研究し、議会を通して現区政を後押ししています。

子どもたちの学ぶ環境を守る →小中学校の最上階天井断熱改修前進！

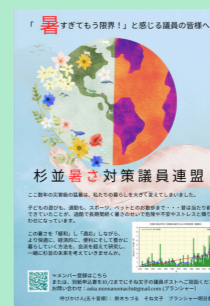
杉並区の最上階普通教室362教室のうち、80教室を3年計画で順次断熱改修！一昨年に続き、2025年度で区内の5校27教室が断熱改修され、室温が約2度下がる効果が確認されました。残り11校50教室についても2027年度までに完了すると教育長から議会答弁がありました。文科省の学校施設環境改善交付金を使用。子どもたちの命を守り、学ぶ環境の整備することは最重要課題です。



区の事業として コンポストを活用した 循環システムが始まります！

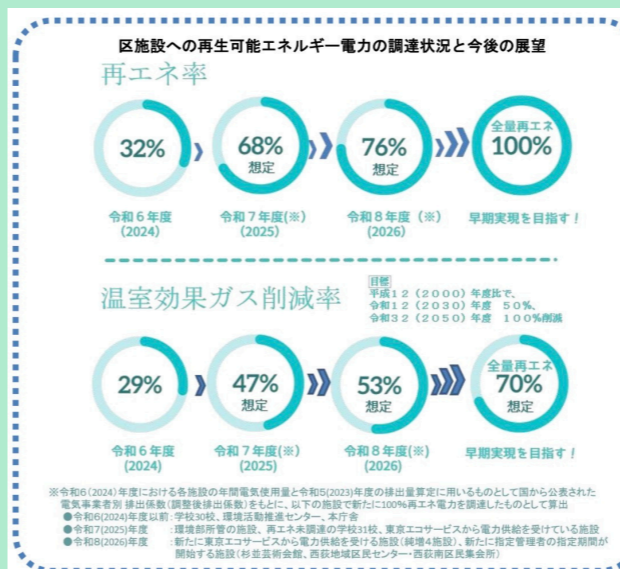
家庭などにおいてコンポストで作った堆肥を農地等で活用し、生ごみの資源化と都市農業の理解促進が始まります。できた堆肥を農地等で活用するため、安全性や品質、安定した量の確保、利用効果などの検証を行うモデル事業が3年間実施されます。燃やす社会から燃やさず循環させる社会へ、杉並区は前進しています。

超党派議員で「杉並暑さ対策議員連盟」 を設立しました



気候危機による暑さの問題が年々激甚化、加速化しています。区議会全体で暑さ対策に取り組みたい！という思いから、2025年10月、超党派で議員連盟を発足させました。議員の約半分23名の議員が加盟し、12/16は江守正多先生（東京大学未来ビジョン研究センター教授）をお招きして勉強会を開催しました。

区施設の100%再エネ化と 温室効果ガス削減が着実に進んでいます。



2024年度「区の事務事業における温室効果ガス排出量削減等の状況について」より抜粋

清掃事業の現場体験！

ごみ減量対策について調査をするために、清掃車に乗せてもらい、可燃ごみ収集を体験しました。午前中収集作業をただで腰を痛めてしまいました。毎日作業をしてくださる清掃職員の皆様に敬意！1年を通して東京のごみ問題について沢山学びました。



過去の議会の動画は、杉並区議会録画配信、または議事録でご覧頂けます。



5人で会派「シスターフード杉並」を結成

2025年4月から、生活者ネットワーク、れいわ新選組、無所属の議員にお声がけし5人会派を組みました。交渉会派となった私たちは、議会運営委員会に入ることとなり、区議会の運営にも関わっています。ブランシャール明日香は副幹事長を務めています。



「ゼロカーボンシティ杉並」
2030年、温室効果削減目標半減まで
残り4年となりました。
区の環境政策を全力で後押ししながら、
新しい区政課題にも取り組んでいます。